

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか、どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●令和2年6月定例会 ● 一般質問
遠藤 浩 議員

避難所の感染症対策は

避難所での感染症予防のため、エリアを区画する資材を購入し備えている行政もあるようですが、当町の対応策を伺います。

ワンタッチパーテーションで対応

滞在スペースにはワンタッチパーテーション及びプライベートルームを設置し、通路はできる限り通行者がすれ違わないよう配慮します。

追加購入し避難訓練を実施しました

日本赤十字から寄付いただいたワンタッチパーテーション21張に加えて35張を追加購入し、津波避難訓練ならびに新型コロナウイルス感染症対策に基づく避難訓練を実施しました。



避難所設営訓練（中央体育館）

5人の議員が町政を問う

門馬 巧 ●元町長 故 松本一郎氏顕彰碑建立について

畑中 大子 ●双葉郡に保健所を設置することについて
●インフルエンザワクチンを全世代無料化について
●街路灯・防犯カメラの設置で学園近接道路の安全確保について

遠藤 浩 ●防災用品備蓄の分散について
●「子ども会」活動の再開について

小磯 利雄 ●道の駅について
●総務省資料及び本町の年間所得について

阿部 憲一 ●前町長の証言のことについて
●避難者の経済負担について

一般質問は、行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、説明を求めたり所信を問いただすものです。

顕彰碑建立

故松本一郎氏の功績伝承を町長／慎重に対応しつつ

門馬

故 松本一郎氏は、広野町議会議員、第6代広野町長として本町の発展に尽力を賜りました。幼稚園舎建築を始め、中央台住宅地造成・公民館・福祉センター・広野工業団地造成・町内各地域圃場整備・小学校校舎・保育所・学校給食共同調理場新築工事等、数々の公共施設の整備を成し遂げることも、町民等の雇用の場の確保、住宅団地整備等本町の発展に大きく寄与する政策を次々と打ち出されました。顕彰碑の建立により、故 松本一郎氏の功徳を後世に伝承し、第2次復興創生へのみちしるべとして本事業を成し遂げることができな

町長

故 松本一郎氏は、町議会議員並びに町長として、ただ一筋に町政に献身され、一農山村に過ぎなかった広野町に今日の発展をもたらした功労者です。地方自治の振興と発展に寄与された数々の功績が認められ、勲五等双光旭日章の榮譽に輝いたことは、町の誇りです。顕彰碑建立については、広く町民の理解と総意を基に建立されるべきものと捉えております。東日本大震災、福島第一原子力発電所事故からの復興創生は道半ばの現況にあります。ご進言されたことを重く受け止め、顕彰碑建立について慎重に対応してまいります。



もんま たくみ 門馬 巧 議員



大和田清之助氏の顕彰碑（公民館前）